

平成22年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ラッキョウ灰色かび病（No.1）

平成22年4月22日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

県全域のラッキョウほ場において、灰色かび病の発生が多くなっています。今後、茎葉が繁茂するにしたがって、さらに発病が増加する恐れがあるため、防除を徹底しましょう。

2 情報の根拠

- (1) 4月13日現在、定点調査ほ場における灰色かび病の平均発病株率は6.4%で、平年(3.3%)に比べて多い(表1)。
- (2) 本病は、5月に低温多雨の条件で発生が増加しやすい。向こう1か月の気象予報から、今後も発病に好適な気象条件が続く可能性があり、発病の増加が見込まれる。

3 防除上注意すべき事項

- (1) カンタスドライフロアブル1, 500倍液、ロブラール水和剤1, 000倍液、ダコニール1000の1, 000倍液、フロンサイド水和剤2, 000倍液などを、収穫前日数及び使用回数に注意しながら輪番散布する。
- (2) 降雨後には、枯れた葉上に多数の分生胞子を形成するので、降雨後の防除を徹底する。
- (3) 茎葉が繁茂したラッキョウは、株元に薬液がかかりにくい状態となっているので、丁寧に薬剤散布する。

表1 ラッキョウほ場における灰色かび病の発病状況（4月13日調査）

地 点	調査ほ場数	発生ほ場数	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)
福 部	5	5	100	8.2
北 栄	5	5	100	4.5
合計・平均	10	10	100 (80.2)	6.4 (3.3)

※()内の数値はH15～21年の平年値

表2 ラッキョウ灰色かび病の防除薬剤（平成22年4月21日現在の農薬登録内容）

薬剤名	希釈倍数	使用回数	使用時期
ダコニール 1000	1000 倍	3 回以内	収穫 14 日前まで
ロブラール水和剤	1000 倍	3 回以内	収穫 30 日前まで
フロンサイド水和剤	2000 倍	5 回以内	収穫 14 日前まで
カンタスドライフロアブル	1500 倍	3 回以内	収穫前日まで